



再編統合の計画

野沢南高

野沢北高

同窓会長に聞く

再編統合する方針が決まった野沢北高と野沢南高。両校の関係者らでつくる「懇話会」が発足し、議論が始まる中、北高同窓会「岳南会」の吉岡徹会長と南高同窓会の中島瑞枝会長に、同計画に対する思いなどを聞いた。

《中島瑞枝氏》

南相木村出身。元小学校教員で専門は数学。佐久地域では佐久市の春日小や小諸市の美南が丘小に赴任した。同窓会長は平成22年から務めている。78歳。

《吉岡徹氏》

佐久市大沢出身。首都圏で外資系企業勤務や飲食店の経営などを経て、67歳の時に帰郷。現在佐久市議2期目。同窓会長は1月5日に就任したばかり。78歳。

「佐久地域の拠点進学校を」

他地域からも生徒呼び込む

再編統合案で野沢北と野沢南の具体的な校名が挙がったのは昨年3月のことだった。

吉岡 ひよつと たら岩村田高も...と考えていたが、地理的に考えた時に北高と南高が挙がるのはやっぱりという感じ。大きな驚きはなかった。

中島 少子化が進む中で統合は必要なことと、その時が来た...と思っている。以前から、地域では統合して1校にという声は挙がっていたので、吉岡会長同様に驚きはなかったし、むしろ前向きにとらえている。

吉岡 実際、佐久から他市や他県の高校へ進学する子どもが増えている現状がある。これは何とか食い止めたい。今回の再編計画は、佐久にも充分学べる学校があるということを示し、逆に他地域からも生徒を呼び込める学校を作るのに千載一遇の機会。要は佐久地域で未来のリーダーを育てる「進学校」を新たに作るということだ。

中島 そうですね。再編統合に関わる住民説明会を開いた時に、特に心配していたのは保護者の皆さん。濃いコーヒート薄いコーヒを混ぜて、中間のコーヒを作るのか...という声も聞かれたが、決してそうではない。後退するような計画なら賛同はしない。進学校として佐久地域の拠点校となるよう努力していく。

「コーヒを作るのか」という声も聞かれたが、決してそうではない。後退するような計画なら賛同はしない。進学校として佐久地域の拠点校となるよう努力していく。

いづれ 中高一貫検討も

統合といえれば反対運動が起こりそうだが、母校の名前がなくなることに寂しい気持ちはないか。

吉岡 改めて、今回の計画は佐久地域で未来のリーダーを育てる拠点校を作り直すということ。寂しい気持ちはない。

中島 専門科を統合した佐久平総合技術高が誕生した時に、次は普通科のことを考えなくては...という思いが頭をよぎってはいない。南高は以前、多部署単位制高校への再編を提案されていたが、現状のまま存続するという方向性を頂いた経緯がある。だから、今のままでも存続させなくて...という思いは減り、縮小していく方がもっと寂しい。

吉岡 北高でもこれまで中高一貫教育のための検討を続けてきた経緯があり、そのための委員会を再編統合の委員会に改組したところ。新校も、いづれは中高一貫も含めて考えていきたい。

新校はアクセス良い場所に

新校はどこに建つか。建設地に興味を持つ人は多いようだが。

中島 現状通り、野沢地域に建てて欲しいという声もある。ただ、新校建設のためには広大な土地も必要だし、佐久地域全体で考え、まちづくりと同時に進めていかなくてはならない。

吉岡 多地域から生徒を呼び込むことを考えても、建設地として必要な明確な条件は、交通アクセスが良いこと。それを考えたら小海線沿線の新地に作ることになるだろう。今の校舎、校地に固執していない。

中島 交通の良さを考えれば、中込駅周辺は捨てがたい。一番の候補地になつくのではないのでしょうか。

今 夢を語る時

新校に向けての思いは一つ...という印象を受けたが同窓会の方向とみていいか。

吉岡 野沢北高は120年、野沢南高は110年の歴史がある。その中で培った伝統と文化を土台にした佐久地域の拠点校をつくる



【野沢南高校】

明治44年に長野県町立野沢実科高等女学校として野沢小に併設開設。昭和23年野沢南高校に。昭和50年から男女共学開始。生徒数(昨年12月1日現在)は、全日制592人(男272人・女320人)、定時制39人(男24人・女15人)。



【野沢北高校】

明治34年に長野県立上田中野沢分校として創立。学制改革により昭和23年から野沢北高校に。昭和25年から男女共学開始。生徒数(昨年12月1日現在)は603人(男319人・女284人)。

ため、今後も同窓会同士で交流を図っていきたい。両者が意思疎通を図ることがとても大切。
中島 いい学校を作りたいという思いは両者一致しているし、過去に固執して主張したりする気持ちもなっていない。計画段階の今が、ああでもないこうでもない...と色々な夢を語る時でもある。地域の人と生徒とが学び合えるように学校づくりができたらいいですね。
吉岡 私の母と叔母が南高の卒業生。叔母に今回の計画の話をしたら、時代が変わったのね...と言っていましたよ。
中島 今回、こうして両同窓会長が対面してお話する機会が持てて良かった。
吉岡 本当に。これからもよろしくお願ひします。

佐久市民新聞の定期購読は 毎週金曜日発行・月額¥800(税別) 0267-68-2312 http://komoronews.co.jp/

ヒトと動物のより良い関係を目指して、飼主さんと「共に考えること」を大切にします。 ゆりかご動物病院 佐久市中込3012-1 TEL:0267-63-7831

小諸市議会人事 議長に清水氏 副は丸山氏 小諸市議会が2日に開いた臨時会で、今期後半の正副議長や委員長などの議会人事が決まった。議長は無所属の清水喜久男氏(71) 副議長は市議会の丸山正昭氏(69) 滝原IIを選出した。任期は申し合わせにより2年。 清水氏は3期目。議長選をめぐり同じ党派に属していた神津氏が名乗りを上げたことで無所属に転じたが、会派を超えて票を集めた。現在、7会派と自身を含む無所属2人と少数林立の小諸市議選結果 丸山正昭 9 神津真美子 7 無効票 3

あなたのメガネ...お手伝い 飯島眼鏡店 佐久市野沢 TEL0267(62)0472